

ここにいま

平成28年度西朝明中学校

学校通信 第11号

平成29年2月7日

寒さが厳しく、インフルエンザが脅威となってきました。そんな中、3年生は入試の時期を迎えています。また1年生はスキーの自然教室を終えました。それでも、まだ寒さに対する備えは万全を期したいものです。引き続き、うがい・手洗いを励行して予防に努めるとともに、不幸にも罹患してしまった場合には、早く診察を受けて、安静にして回復に努めてください。



3年生は明日と明後日が県立高校の前期選抜入試です。志願した生徒たちはきっと持てる力を余すことなく発揮して頑張ってくれていると思います。風邪っぽいからと全力を出し切れない生徒がいなければいいが、と願っています。

3年生はこの前期選抜の内定発表と、それまでの私立高校の合否結果を受けて、三者懇談を行い、後期選抜受検校を決定することになります。

家族でよく話し合って、受検校を決定してください。



なお、私立高校を一般受験して合格した場合には、入学金を納めないが無効になりますから、期限を守って必ず納入してください。推薦入試で合格した人も、期限までに必ず、納入してください。これらの注意点は、学年や担任から注意がされているはずですから、よく聞いて・よく文書を読んで、漏れのないようにお願いします。

3年生は、その後、テストや奉仕作業をして、3年生を送る会・クラブ送別会、同窓会入会式をして卒業証書授与式となります。詳しくは第3学年の学年通信や進路通信で確認してください。

1年生は、今月の1日から3日までの3日間、自然教室として御在所におけるスキー実習がありました。初日は午前中は絶好の天候に恵まれ、風もなく晴天でしかも雪はふかふかでした。初心者の子も約7割いたのですが、ボーゲンの基本から教えてもらい、徐々に滑る格好がさまになっていきました。午後は、強風が吹き始め、30分ほど早く切り上げて下山しました。



2日目は、前日の雪と強風のため、開催そのものが危ぶまれましたが、ゴンドラは8時前に運行を決定し、バスも途中でチェーン装着のバスに乗り換えまで検討しましたが、何とかそのまま乗り換えをせずに向かうことができました。前日と同じく、雪はふかふかでしたが、強風と雪のために時には吹雪となっていて、悪天候の状態でのスキー教室でした。でも、沢山の生徒が何とか滑って、止まれるようになり、最後にはリフト乗り場で待つ長い列ができていました。

1年生の学年は3日間で、指示される前に行動し次の日程に備えることや、聞く時には皆が黙って聞いたり反応したりできる、いい姿を見せてくれるようになりました。何より、食後の後片付けが手際よく、素早く、みんなのできる、いい光景でした。きっと、2年生になったら、学校の中核として学年や学校全体を盛り立てていってくれるだろうと、頼もしく、心強くなりました。何人かが病気になったり、けがをしたことだけが残念ですが、治療に努めて、早く完治してくれることを願っています。

なお、CTYの「御在所インフォメーション」という5分番組で、このスキー教室の様子が放映されます。よろしかったら、CTY12chでご覧ください。

放映予定日時	2月15日	16:20	
	16・17日	16:20	19:35
	18日	9:25	16:20 19:35
	19～23日	9:25	16:20
	24～28日	10:35	16:20

2年生も1年生も、学年末テストを今月下旬に行い、3年生を送る会・クラブ送別会の後、卒業証書授与式となります。その前に、1年生は自然教室の反省がなされると思いますから、しっかりと振り返り、今後に生かせるようにしてほしいものです。

学年末テストの後には、先生たちは学年の成績をつけることになります。1学期には1学期の評定が通知表で示されました。2学期には2学期の評定が同じく通知表で示されました。3学期には、3学期の評定は示されません。通知表の最上段にあった所をご覧になっておわかりのように、「学年」という評定欄があるだけで、3学期という評定はないのです。このことは現1・2年生の皆さんは十分に理解しておく必要があります。3年生になって受験（受検）しようとする際の調査書に言う内申は、この学年の成績が用いられることになります。今から3年の時に重要な要素である成績がつくという事実は知っておいてください。受験（検）校を決めていく時の参考にする成績は、この3学期の「学年」の評定の影響を受けることになります。ちなみに、私立高校等の受験は入学試験を受けるので、受験と表しますが、県立高校の試験は、入学検定なので受検と表します。3年生になれば、知らなければならないことですが、少しずつ知識として覚えておいてください。

生徒会では、自分たちの手でできることをやり続けようと、企画・提案してくれています。雪のために延びているのが、渡り廊下のペンキ塗りです。実際には、いつ、実行に移してくれるのか楽しみです。そう言えば、正門入ってすぐの築山にある校歌の歌碑が色あせて見にくくなっているの、「あれも、きれいにペンキで塗れないかなあ」と話したことがありました。もしかしたら実現するかもしれないと、こちらも楽しみにしています。

先日、教育委員会から連絡があり、昨年の12月13日に「中学生からの提案・発信」発表会で奨励賞を受賞した生徒会の記事が、県のHPに掲載されたそうです。

以下にアドレスをご紹介しますので、是非、ご覧ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/04/ci600006202.htm>



どの学年にも言えるのが、基礎学力の定着を図りたいということです。まず授業で少しでも工夫したいと考えていますが、すぐに効果の見えるものでもなく、個々の先生の知恵を発揮してもらうことになります。私が重要視するのは、授業する先生も生徒も笑顔であることです。まず先生が楽しそうに授業することが大事だと考えるからです。授業の後は、定着のための復習で、いろいろな問題に取り組んでみる必要があります。ご家庭からも宿題を望む声の大きいのは、復習が大切だと誰しもが考えているからだと言えます。宿題として課題にすることだけでなく、日々の復習が重要であることは自明の理と言えます。予習を求める声もありますが、基礎学力の定着には、復習こそが大事です。どの学年の生徒も、復習に余念なく取り組んでくれると良い効果が期待できます。実は、宿題だけでなく、自分の学習方法として復習や定着のための努力を続けてくれると良いのですが・・・。